

枚方市の教育理念

『夢と志を持ち、可能性に挑戦する
“枚方のこども”の育成～』
～子どもたちの未来への可能性を
最大限に伸ばす枚方の教育～

教育理念 『ともに学び ともに進まん』

教育目標

安心してチャレンジできる みんなが主役のさだ小学校
～自分らしさを大切に、一人ひとりが掛替えのない存在であり、
持てる力を発揮できる学校～

＜めざす学校像＞

○自分と向き合う
・苦手なことや弱み言える学校
・個々の課題解決に真正面から取り組む学校

○他者とつながる
・明日も行きたいと思える学校
・安心して過ごせる学校

○自分を高める
・自分で考えたことにチャレンジ(実現)して未来
に希望を持てる学校

＜めざす児童像＞

心のめあて「むきあうん・たかめるん・つながるん」

○自分と向き合う子
自分のことを知り(自分とつながり)、自分の気持ちや行動を整えられる子

○自分を高める子
目標に向かって素直・前向きに取り組み、調整・修正しながら失敗を恐れずにチャレンジできる子

○他者とつながる子
自分と仲間を互いに認め合い、最適解・納得解を出せる子

＜めざす教職員像＞

◆認め合い、高め合い
「レッツグリップウェルビーイング」
○子ども一人ひとりの人権を重んじ、心に寄り添える教職員
○今が最新!磨き続ける
○自分を知り、自分を整える
○私が主役 あなたも主役 自他尊重

＜めざす教職員室像＞

◆みんなのパワースポット「職員室と学級は相似形」
○大切にしよう「自分と仲間」
○見てみよう 聴いてみよう「相手のこと」
○言葉にしよう「ありがとう」

本年度の重点課題と具体的な取組み

重点課題Ⅰ ～豊かな心の育成～ 思いやりをもち、協力して取り組める子どもの育成 ①人権意識の醸成 ◆「いじめを絶対に許さない」集団づくり ・「いじめ防止対策推進法」「蹉跎小学校 いじめ防止基本方針」に基づいた対応の徹底、日常の観察とアンケート等による児童の実態把握と迅速な対応、保護者、児童への丁寧な対応かつ公平な指導 ◆体罰及び暴言の絶対禁止…児童の人権を認めた言動 ②道徳教育の充実 ◆「考え、議論する道徳」に向けた授業の工夫 ◆特別の教科 道徳の保護者・地域と一体となった取組 ◆自己肯定感を育むクラスづくり ・授業中は、呼び捨てにしない、愛称を使わない ③生徒指導体制の充実 ◆生徒指導主担者を中心とした迅速で組織的な対応 ・報告・連絡・相談の徹底→教師を一人にしない組織的な対応の構築 ・必要に応じたケース会議の開催 ・生徒指導事案については、軽微であっても内部系PCに詳細に記録し、全教職員に共通理解を図る(学期に1回は生徒指導全体会を実施する)。 ◆不登校の未然防止と支援(不登校対応方針を基に) ・欠席、遅刻等の早期の状況把握と共有 ・心の教室相談員、SC、SSW、関係外部団体等との連携 ・チームでの家庭訪問や別室登校等、柔軟な取組の実施 ◆心を整えるための合言葉「姿勢・挨拶・靴と椅子」 ・全ての教職員によるこまめな声かけの徹底 ④教育環境の整備 ◆日々の整理整頓と早期の補修(自分でできることは自分で補修する) ◆集中清掃の実施(教師もともに) ◆学期の始まりには校舎内の簡易清掃を実施 ◆学校応援ボランティア「さだレンジャー」の募集、積極的な活動依頼	重点課題Ⅱ ～確かな学力の向上～ 学ぶこと・考えることが好きな子どもの育成 ①学校全体としての取組の充実 ◆学力向上主担者を中心とした組織的・継続的な取組の実施 ・6年間の発達段階を踏まえた明確な目標達成をめざす指導 ・全学年の指導が系統的に組織された取組みの構築 ◆「自立した学習者」の育成をめざした「子どもが主体の授業づくり」 ②学習規律の徹底と確立 ◆「枚方スタンダード」の徹底 ・チャイム席、授業準備、挨拶、話し方、聞き方、姿勢等の徹底 ・学びに向かう学習環境の維持・徹底 ③授業力の向上 ◆生活・総合を中心とした校内研究(探究学習)と授業実践 ・全教職員がチームとして取り組む ・非認知能力の向上を基にした「生きる力」の育成 ・家庭学習を単元計画に組み込み、シームレスな学びに基づいた指導の構築 ◆相互授業参観の活用 ・学級運営の観点も含め、積極的な授業公開と相互参観の実施 ◆基礎・基本の定着 ・児童の個性に合わせた指導 ◆Hirakata 授業スタンダード(第2ステージ)及び5Cの実施 ◆タブレット端末を活用した個別最適化された授業づくり ・必要に応じたより効果的な活用方法づくり ・タブレット活用時のルールの徹底 ④家庭学習の充実 ◆「家庭学習の手引き」の活用と保護者への協力依頼(学級懇談会、PTA総会、学校・学年だより等を活用して) ◆計画的な自主学習ノートの取組み ・計画的な家庭学習方法を獲得するための指導 ・児童一人ひとりの自分なりの学習方法への指導 ◆児童の課題に対応した宿題等の実施(タブレットの活用等を含む個別最適化された宿題) ・個別最適化された宿題等の実施 ・1週間ごとのスケジュール作りと児童相互の進捗の確認 ⑤読書習慣の定着 ◆読書ノートの活用 ◆司書、司書教諭を中心とした図書室の割り当て時間や活用の工夫 ・読書に興味や関心を持たせる指導や資料活用を意図した利用 ◆保護者やボランティアの活用 ⑥支援教育の充実 ◆各学期に1回の「全体会」で支援学級在籍児童や通級指導教室在籍する児童及び支援を要する児童の共通理解を図る ◆支援教育コーディネーターを中心とした個に応じた指導方法の研究 ・支援在籍児童及び通級指導教室在籍児童が通常の学級での授業でも居場所がある指導方法づくり ・通級指導教室と支援学級それぞれの指導方法の研究 ◆支援学級担任と通級指導教室担任、通常学級担任の連携強化 ・生徒指導上の課題や学習課題を共有し、課題解決に向けた強固な連携づくり ◆ユニバーサルデザインによる学習環境の充実 ・全ての児童が安心できる学習環境がユニバーサルデザインであることを念頭に、学校全体でユニバーサルデザインに取り組む ・常に児童にとって安心・安全な環境であるかの視点を持つ	重点課題Ⅲ ～基本的生活習慣の確立と体力向上～ 身体を動かすことが好きな子どもの育成 ①基本的生活習慣の定着 ◆保護者との連携のための実態把握 ・学校教育自己診断の活用と分析 ◆「早寝・早起き・朝ごはん」の徹底 ・学校教育自己診断の活用と保護者への情報発信、協力依頼 ②体力についての課題の明確化 ◆体力・運動能力調査等を活用した「体力向上プラン」の作成と活用 ・体育部会を中心とした分析とプランの全教職員による作成と活用を図る ③体育の授業時間の充実 ◆児童の主体性を大切にした授業の実施 ・体育カード等の積極的活用と振り返りの充実 ◆ねらいを明確にした授業の実施 ・授業計画の点検 ・一人ひとりの授業後の振り返りと新たな目標設定の充実 ◆系統的な計画に基づいた取組の実施 ・最終目標(ゴール、つきたい力)を明確にした授業計画の策定 ④個に応じた取組みの実施 ◆苦手意識を克服するための工夫 ・主体的な取組みとなる授業づくり ◆マラソン週間の設定
重点課題Ⅳ ～保護者・地域との協力連携～ 地域とともにある学校づくり ①コミュニティスクールの実施 ◆学校運営方針の共有化 ・学校の願い、保護者の願い、地域の願いの共有 ◆学校運営協議会の設置と役割分担 ・コミュニティスクール担当教員を校務分掌に明記し、地域に開かれた学校づくりに資する ・年間3回以上の学校運営協議会の開催 ②安全・防災のための協力依頼 ◆防災教育への協力 ◆PTAとの通学路点検・地域パトロールの実施 ・登校班名簿作成の協力依頼 ◆「虐待」・「不登校」・「いじめ事案」等の早期発見のための情報共有 ③地域人材の活用「さだレンジャー」の募集、積極的な活動 ◆トイレ清掃や学校図書館ボランティアへの協力依頼 ◆給食配膳補助、放課後自主学習教室への協力依頼 ◆昔遊び、裁縫指導等のゲストティーチャーの積極的活用と協力依頼 ④「保・幼・こ・小・中」連携「架け橋プログラム」 ◆校務分掌に担当者を明記し、組織的に連携を進める ・段差解消に向け、積極的な連携を進める「いちご大作戦」 ・「5歳児架け橋会議」や「小中連携会議」等を積極的に行い、情報共有を図る ◆学習状況の保護者への報告を補完する校務支援システムの活用と毎学期の保護者への報告 ◆学校だより・学年だより・(学級だより)の発行 ・B4 用紙1枚程度または電子媒体での定例発行等 ◆学校ブログの充実・日々の各学年の活動報告 ◆学校行事・オープンスクールへの参観依頼	重点課題Ⅴ ～学校運営組織の充実～ 信頼される教職員集団の確立 “レッツ グリップウェルビーイング” ①服務規律の徹底、法令順守 ◆身だしなみ、時間厳守、危機管理等の徹底 ・TPOをわきまえた身だしなみや言動 ・子どもたちの見本となるべき態度に努める ②長時間勤務の縮減(熱心≠長時間勤務) ◆ワークライフバランスのある働き方 ◆タブレット等、ICT機器の活用 ・教職員間の情報交換 ・会議のペーパーレス化(印刷時間の短縮等) ◆提案文書の計画的提案と会議短縮 ・提案文書の学年会等での審議や質問の整理等 ③ともに学び続ける意欲と主体的に動く意識の向上 ◆自分を知り、自分を整える教師集団の創造 ・自分の強みややりがい、自分にあった働き方知っている教師集団 ◆自他尊重…私が主役、あなたも主役 ・コミュニケーションを通して認め合える教職員集団 ◆今が最新!磨き続ける ・考えを伝え合い、高め合い、より良い納得解、最適解を目指してアップデートしチャレンジし続ける教師集団 ④「報・連・相」の徹底、ときに「相談・連絡・報告」 「報・連・相」による孤立の防止 ・チーム学校としての組織的な対応の徹底 ⑤“温かなおせっかい”の実践	